

19 世紀に機関車輛と牽引された列車が軌道上を走るという意味での鉄道が発明された。鉄道建設は、ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテについて語らなければならない。彼の「ドイツ統一」論は、ドイツ連邦内の 39 の主権国家の国境ドイツの工業化の撤廃と商業貿易の一体化を説いたものである。この考え方は、極めて現代的なものであり、国のあらゆる場所に文化や富が行き届いていなければならない。つまり中央集権国家ではなく、一都市に至るまで、分権的な国家こそ繁栄を保障するものであると考えていた。

期と重なる。

ドイツ語圏の鉄道史は建設進捗の。程度から、四局面に分かれる

1806 年フランス皇帝ナポレオンの出現でドイツ国民の神聖ローマ帝国が崩壊した。

1815 年主権国家の集合体としてドイツ連邦が形成された。

1835 年 12 月 7 日、南ドイツバイエルン王国のニュルンベルクとフュルトの都市間を結ぶ鉄道が開通した。このことは、「ドイツ連邦」各地に大きな刺激を与えた。この成功により、て